

☆\*\*\*\*\*☆

ニッセイメール配信サービス（メルマガ）

【メルマガ内容】

DB基金（ ） DB規約（ ） DC（○）  
厚年基金（ ） 会計基準（ ） その他（ ）

【タイトル】厚生労働省「iDeCo 普及・推進特別会議」の開催について

☆\*\*\*\*\*☆

平素より当社社業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

厚生労働省は2026年4月14日、「iDeCo 普及・推進特別会議」を開催しました。当特別会議には、厚生労働省年金局、国民年金基金連合会のほか、各業界団体等が参加しました。議事として、以下が挙げられております。

- (1) iDeCo 普及・推進にかかるキャッチコピー（ポスター形式）発表
- (2) 改正事項について説明 [厚生労働省年金局]  
普及推進策の説明 [国民年金基金連合会]  
各団体から iDeCo 普及・推進に関してコメント

■厚生労働省 HP iDeCo 普及・推進特別会議 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_72192.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72192.html)

当特別会議は、厚生労働省年金局が実施する検討会等の一つで、その開催意義等について、厚生労働大臣より以下の発言がなされております。

【iDeCo 普及・推進特別会議について】上野大臣会見概要より、抜粋

「今年の12月に、iDeCoの拠出限度額と加入可能年齢が引き上げられ、掛金の所得控除が最長で70歳になるまで受けられるようになります。これを契機に、iDeCoの加入者の一層の増加、大幅な増加に向けて周知・広報を強力に進めていきたいと考えています。（中略）今のところiDeCoの加入率は約5%と、少し低い水準になっていますし、iDeCoの認知率自体も約60%ということで、NISAに比べて低い状況です。加入率を大幅に引き上げたいと考えていますし、その前提として、iDeCoの認知率の向上にも取り組んでいきたいと考えています。さらに、本日、金融機関、金融庁等の関係団体にご参加いただき、iDeCo 普及・推進特別会議を開催します。業界の皆さんとも一丸となって、更なる加入率の向上、認知度の向上に取り組んでいきたいと考えています。」

厚生労働省 HP 上野大臣会見概要 2026年4月14日

[https://www.mhlw.go.jp/stf/kaiken/daijin/0000194708\\_00916.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/kaiken/daijin/0000194708_00916.html)

(1) iDeCo 普及・推進にかかるキャッチコピー（ポスター形式）発表

キャッチコピー「これから iDeCo ひろがる iDeCo」が発表されました。

(2) 各資料の説明等

①私的年金制度、iDeCo の改正のポイント [厚生労働省年金局]

(厚生労働省 HP 資料 1)

- ・私的年金制度改正の概要
- ・iDeCo・企業型 DC の拠出限度額の引き上げ
- ・iDeCo のメリット
- ・iDeCo 普及促進策（限度額引上げ等を起点に） 等

②公的年金シミュレーターへの iDeCo 試算機能の追加について [厚生労働省年金局]

(厚生労働省 HP 資料 2、3)

- ・現行の公的年金シミュレーターの概要
- ・公的年金シミュレーターによる iDeCo 試算機能
- ・公的年金シミュレーターの周知・広報 等

③iDeCo の普及・推進に向けた取組について [国民年金基金連合会]

(厚生労働省 HP 資料 4)

- ・広報施策の強化
- ・オンライン化による利便性向上と効率化

\*\*\*\*\* メール配信サービス（年金NEWS・メルマガ）\*\*\*\*\*

運営：日本生命保険相互会社

〒100-8288 東京都千代田区丸の内 1-6-6 日本生命丸の内ビル

団体年金部

TEL 03-5533-5572

E-mail kikinmadoguti@nissay.co.jp

\*\*\*\*\*

日本-年基-202604-170-0038-D